

学習指導案(教科:地理歴史公民科)

1 授業内容

科目:世界史B

単元:第15章 欧米における工業化と国民国家の形成 4 フランス革命とウィーン体制

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標

フランス革命の推移に関わる歴史的事象を取り上げ、近代世界に対する多角的で柔軟な見方を養う。

(2) 本時の目標

「ルイ16世の処刑」と「封建的特権の廃止」の理解によって、フランス革命の意義について考察する。

(3) 本時の評価規準

(関心・意欲・態度)リアクションペーパーにおいてテーマについての主体的な関わりが見られるか

(思考・判断・表現)課題解答において、具体的事実の持つ意味を捉え、表現することができるか

(知識・理解)課題解答において、制度や事件、抽象的概念について正確に理解し、知識として修得できたか

(技能)「人権宣言」等の史料読解方法を正確に理解できたか

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	①前時の復習 ・三部会招集からブリュメール18日のクーデタまでのフランス革命の推移 ・『人権宣言』の内容 ②本時の目標 『人権宣言』が目指していたものは実現できたのか、フランス革命の意義について考える。	・前回のワークシートを見ながら、 <u>教員の説明を聞く…【1】</u> →配布機能を使用 ・基本用語についての発問に答える。 ・ <u>基本用語で理解できていないものがあれば、確認する。…【2】</u> →EX-wordと配布機能を使用 ・『人権宣言』の内容について発問に答える。 ・本時の目標を知る。	・必要があればメモするように指示する。 評価【知識・理解】 基本用語について正確に理解している。
展開 (35分)	①1791年憲法の史料を読む ②1793年憲法の史料を読む ③封建的特権の無償廃止の史料を読む ④①と②の共通点や相違点について考えさせる。それを踏まえ、ルイ16世の処刑の意味を考えさせる ⑤③の意味について考えさせる	①～⑤について、ワークシートに <u>答を記入し、提出する。…【3】</u> →配布機能・提出機能・回答共有機能を使用	・間違った解答の生徒がいれば、丁寧に説明する。 評価【技能】 諸資料を正確に読み取り、内容を捉えることができる。 評価【思考・判断・表現】 具体的事実の持つ意味を捉え、表現することができる。
まとめ (5分)	①ゲージュの『女性のための人権宣言』について紹介する。 ②課題「フランス革命の意義について、人権宣言の第1条、第3条に注目して300字以内で説明せよ。」と「リアクションペーパー」を提示する。	・①について史料を見ながら解説を聞く。 ・ <u>課題を知る。…【4】</u> →配布機能を使用	フランス革命の意義を捉えて「近代世界」の一つの側面を理解したことを「現代世界」の課題へとつなげる。(『歴史総合』『世界史探究』を意識した取り組み) 評価【知識・理解】 フランス革命の意義を捉えている。 評価【関心・意欲・態度】 テーマについて関心を持って課題に取り組もうとしている。

(5) ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、展開の【3】の場面である。

(手順)

- 史料読解のワークシートを作成し、配布する。
→ClassPad.netの配布機能
- 生徒は資料を読んでワークシートに記入し、提出する。
→ClassPad.netの提出機能
- 任意の生徒の解答を共有し、解答を確認しながら授業を進める。

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 提出機能よりワークシートを提出させ、リアルタイムに生徒の進捗・理解度を教師が把握することができる。
- 間違えやすいポイントを教師が把握し、理解度に応じて授業の解説を効果的に行うことができる。

